

創立 40 周年記念

第 4 号

# 芳 友



岡山県立岡山芳泉高等学校同窓会

# 目 次

## 記念事業報告

同窓会創立 40 周年記念事業実行委員会

実行委員長 黒住 宗道

## 同窓会創立 40 周年記念事業

1. 母校創立 40 周年記念事業への協賛
2. 芳友会館整備
3. 同窓会創立 40 周年記念式典・懇親会
4. 40 周年記念講演

## 同窓会の歩み

同窓会の活性化への取り組み

40 年の軌跡（“芳泉” と心に刻み込まれた者達に栄光あれ！）



## 記念事業報告

同窓会創立 40 周年記念事業実行委員会  
実行委員長 黒住 宗道

昭和 52 年（1977）3 月、第 1 期生の卒業とともに創立なった岡山県立岡山芳泉高等学校同窓会は、平成 28 年（2016）に創立 40 周年を迎えました。記念事業の一環として発行された「同窓会会員名簿」の誌上にて、茲に同窓会創立 40 周年記念事業実行委員会からの報告をいたします。

当年 8 月 13 日（土）には、現旧校長・教頭各位をはじめ元教諭（恩師）方にも多数ご来臨をいただき、1 期生から 40 期生までの 400 余名の会員たちが参集して、同窓会総会・記念式典・懇親会をホテルグランヴィア岡山にて開催しました。懇親会のクライマックスは、元応援団部員有志による母校のエールと参加者全員での校歌・応援歌の大合唱でした。40 年の時間を超えて、ともに“芳泉ファミリー”の一員であることを熱き情（こころ）燃える中に実感した、記念すべき祝宴となりました。

また、同年 11 月 12 日（土）には、在校生と同窓会会員を対象とした記念講演会を岡山シンフォニーホールを会場にして開催し、講師の齋藤孝明治大学教授から、人間関係をつくる上でのコミュニケーション力の大切さを学びました。

母校支援事業としては、平成 26 年（2014）の芳泉高校創立 40 周年に際して、地元山陽新聞への紙面広告、新装なった図書館への書架の寄贈、ICT 機器の整備を行い、さらに同窓会創立 40 周年に合わせて芳友会館の改修を計画して、教室の照明改良、洋式トイレの設置、同窓会資料室の整備等を実施しました。

第 1 期生以下、全同窓会会員が“パソコンユーザー世代”という特質を活かして、10 年前の創立 30 周年には記念誌が DVD として作成されましたが、今回は同窓会のホームページの会員専用ページに記録写真や必要資料を掲載することで記念誌の作成は見送り、経費削減を図りました。本誌上に紹介している式典・懇親会の記録はごく一部ですので、ネット上でご覧ください。（パスワードをご存じない会員諸氏には、同窓会事務局までお問い合わせください）

蜂谷泰祐会長の下、常任理事・各期の理事ら同窓会役員によって実行委員会が構成され、不肖私が委員長の任を預かって、おかげさまで同窓会創立 40 周年の記念事業は無事に完遂することができました。記念式典、懇親会、そして記念講演会にお運びいただいた先生方、そして同窓会会員の皆さん方に厚くお礼を申し上げるとともに、献身的にそれぞれの諸役を果たしてくれた実行委員各位に、心からの謝意を表すものです。

そして、いよいよ 50 周年という大きな節目を次なる目標として掲げる時となりました。懇親会の閉会挨拶で申し上げたことですが、7 年後の母校創立半世紀の時には「伝統校宣言」を高らかに謳えるように、一層の会員相互の親睦を図りながら、母校発展に貢献できる芳泉高校同窓会であることを願い祈っています。

# 同窓会創立 40 周年記念事業

## 1. 母校創立 40 周年記念事業への協賛

### 新聞広告

平成 25 年 11 月 8 日の山陽新聞朝刊に母校創立 40 周年の記事が掲載されました。その際に芳泉高校同窓会は協賛広告をしました。



**祝**

教育理念  
気宇広大で、  
包容力の大きな人間の育成

**本校の特色**

**進学重視型単位制**  
一人事後の学力の伸びに直結

①興味・関心や活躍する進路に対応した授業(多彩な選択科目)  
②自分の学力にあった学習到達度授業(少人数授業)

**厚みのある学力、人間力の養成**  
—HOSEN キャリア創造プロジェクト—

①方言ゼミ(演劇研究、プレゼン能力養成、進路学習)  
②芳泉ゼミ(ボランティア(社会貢献活動))

**高い次元での文武両道を指す**  
—一面両見のよさが伝統—

①国立立大学合格者数や岡山大学合格者数(毎年下層クラス)  
②今年も多くが全国大会や中国大会に出場

卒業生の高い満足度(過去3年間で97%)

**創立40周年記念事業**

●新書刊リニューアル ●創立40周年記念誌発行

**創立40周年記念行事**

●記念講演会【文化の部】平成25年9月7日(土)  
【体育の部】平成25年9月11日(水)

●新書刊 刊【芸術文化の部】平成25年9月7日(土)  
【新立記念式典会場】平成25年11月8日(金)  
【日本電力記念ホール】

●記念講演会【PTA特別講演会】平成25年10月19日(土)  
【記念式典会場】平成25年11月8日(金)  
【日本電力記念ホール】

●記念講演会【校友会】平成26年3月21日(金)  
【舞臺楽園】平成26年3月28日(金)

# 岡山県立岡山芳泉高等学校

## 創立40周年

### 芳泉進化

～さらなる高みへ～



**文武両道の進学拠点校 芳泉進化**  
校長 豊岡 秀明

岡山芳泉高等学校は、昭和45年4月、岡山学区4校19の普通科組合議決として設置され、今年創立40周年を迎えました。建学の精神「気宇広大で包容力の大きな人間の育成」から、フロンティア精神をふんだんに実践し、教員の多岐な努力により、高い教育水準と高い伸びの学力を創り上げてきました。卒業生は今でも「学歴47校からは進学先選考で有利に受け入れ、少人数授業など、きめ細かい教育に恵まれる」と、入学次での文武両道を体現し、前年の進学実績が倍増した実績を上げています。創立40周年は人の夢を叶えていく年でもあります。本校は、これまでで最も大きな節目を迎え、新たな、グローバル化など社会の変遷の中で、将来の学校のあり方をしっかり見直し、教職員一丸となって「進化」を期しています。今後とも、本校教育に賛同、協力を賜りますようご期待申し上げます。

**創立40周年を祝して**  
PTA会長 三井 浩一

本校卒業生が40周年を迎えたことでも心から喜び申し上げます。私も自らも18年生として卒業校に思い入れが深い学校に育ち、【フロンティアスピリット】の合併案のもと、先輩と先生が「先んじて」励み上げていこうとする思いが伝わります。

先日、進路指導の話を聞かせていただきました。生徒たちが夢を叶えるために頑張りましたが、それ以上に先生たちの心と魂の力が伝わりました。自分もその努力を一生懸命に頑張りたい。進路や授業も十分頑張りました。先生に主体的に働きかけたり、みんなで力を合わせて頑張りたい。先生から教壇を降りてきてくれた先生に、自分も先生として頑張りたいと思っています。そのことを目指して、また後輩の一人として頑張りたいです。芳泉高校が今後ますます輝く学校に発展しますことを心から祈ります。

**岡山芳泉高等学校の40周年にあたり**  
同窓会長 蜂谷 泰祐

岡山芳泉高等学校の創立40周年を心からお慶び申し上げます。学校は歴史ある伝統ある文化の宝庫。進歩と発展を遂げてまいりました。同窓会は創立40周年を迎え、このたびの創立40周年記念式典に当たり、同窓会の一助成として同窓会費の一部を負担させていただきました。今後とも母校に対しては、同窓会として貢献してまいります。

この40年間、母校で教育を受けた経験が、今も心に残っています。岡山市の教育の拠点となる普通科高校としての地位を築きあげてくれた母校を誇りに思います。卒業生や在校生の皆さんには、岡山を愛し、日本を愛し、世界を愛する心で生きてほしいと思います。そして、日本から世界へと、世界から日本へつながることで、より大きな岡山の発展に貢献していただくことを期待しています。同窓会として、同窓生一人一人が、母校の発展に貢献し、岡山県立高等学校の発展に貢献していただくことを心から祈ります。

**沿革**

昭和45年4月1日 岡山県立岡山高等学校普通科部設置  
岡山県立岡山高等学校普通科部設置  
11月9日 普通科部設置の校長決定  
2000年4月1日 合併案が決定される

48年1月1日 岡山県立岡山高等学校普通科部設置  
4月22日 岡山県立岡山高等学校普通科部設置  
62年3月12日 第1回卒業式挙行  
64年5月21日 卒業生有志会発足

昭和49年4月1日 岡山県立岡山高等学校普通科部設置  
56年11月18日 創立10周年記念式典挙行  
平成11年11月22日 創立20周年記念式典挙行  
19年4月1日 創立30周年記念式典挙行  
平成25年11月8日 創立40周年記念式典挙行

岡山県立岡山芳泉高等学校 同窓会 〒700-8527 岡山市南区当新田51-1  
TEL:086-264-2801 http://www.hosen.gr.jp/

祝 岡山県立岡山芳泉高等学校 創立40周年 (順不同)											
大土法律事務所 大土 弘 〒700-8527 岡山市南区当新田51-1 TEL:086-264-2801 http://www.hosen.gr.jp/	岡山ガス芳友会 岡山ガス芳友会 〒700-8527 岡山市南区当新田51-1 TEL:086-264-2801 http://www.hosen.gr.jp/	野球部OB会 野球部OB会 〒700-8527 岡山市南区当新田51-1 TEL:086-264-2801 http://www.hosen.gr.jp/	硬式テニスOB会 硬式テニスOB会 〒700-8527 岡山市南区当新田51-1 TEL:086-264-2801 http://www.hosen.gr.jp/	中里健一 中里健一 〒700-8527 岡山市南区当新田51-1 TEL:086-264-2801 http://www.hosen.gr.jp/	佐々木 篤 佐々木 篤 〒700-8527 岡山市南区当新田51-1 TEL:086-264-2801 http://www.hosen.gr.jp/	寺尾耕治 寺尾耕治 〒700-8527 岡山市南区当新田51-1 TEL:086-264-2801 http://www.hosen.gr.jp/	川合弘泰 川合弘泰 〒700-8527 岡山市南区当新田51-1 TEL:086-264-2801 http://www.hosen.gr.jp/	第六期生一同 第六期生一同 〒700-8527 岡山市南区当新田51-1 TEL:086-264-2801 http://www.hosen.gr.jp/	第五期生一同 第五期生一同 〒700-8527 岡山市南区当新田51-1 TEL:086-264-2801 http://www.hosen.gr.jp/	河渕宏史 河渕宏史 〒700-8527 岡山市南区当新田51-1 TEL:086-264-2801 http://www.hosen.gr.jp/	加藤一哉 加藤一哉 〒700-8527 岡山市南区当新田51-1 TEL:086-264-2801 http://www.hosen.gr.jp/
福井正佳 福井正佳 〒700-8527 岡山市南区当新田51-1 TEL:086-264-2801 http://www.hosen.gr.jp/	室井隆嗣 室井隆嗣 〒700-8527 岡山市南区当新田51-1 TEL:086-264-2801 http://www.hosen.gr.jp/	第十七期生一同 第十七期生一同 〒700-8527 岡山市南区当新田51-1 TEL:086-264-2801 http://www.hosen.gr.jp/	江田剛 江田剛 〒700-8527 岡山市南区当新田51-1 TEL:086-264-2801 http://www.hosen.gr.jp/	桑原順 桑原順 〒700-8527 岡山市南区当新田51-1 TEL:086-264-2801 http://www.hosen.gr.jp/	山根順一 山根順一 〒700-8527 岡山市南区当新田51-1 TEL:086-264-2801 http://www.hosen.gr.jp/	丹羽雅人 丹羽雅人 〒700-8527 岡山市南区当新田51-1 TEL:086-264-2801 http://www.hosen.gr.jp/	山路雅樹 山路雅樹 〒700-8527 岡山市南区当新田51-1 TEL:086-264-2801 http://www.hosen.gr.jp/	小林憲夫 小林憲夫 〒700-8527 岡山市南区当新田51-1 TEL:086-264-2801 http://www.hosen.gr.jp/	第十二期生有志一同 第十二期生有志一同 〒700-8527 岡山市南区当新田51-1 TEL:086-264-2801 http://www.hosen.gr.jp/	大塚泰文 大塚泰文 〒700-8527 岡山市南区当新田51-1 TEL:086-264-2801 http://www.hosen.gr.jp/	猪木健二 猪木健二 〒700-8527 岡山市南区当新田51-1 TEL:086-264-2801 http://www.hosen.gr.jp/

## 図書館書架の寄贈

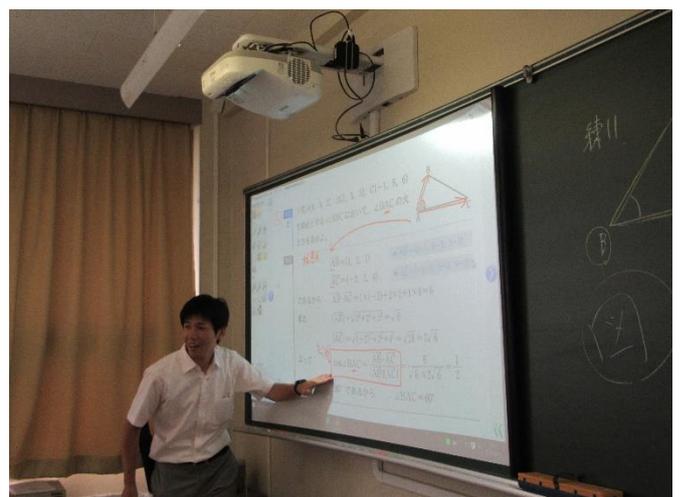
40年の歳月が経ち、母校の図書館の書架も老朽化し改装の必要がありましたが、費用面からなかなか着手できませんでした。学校からの要望を受け、芳泉高校同窓会は書架を寄贈しました。

平成26年1月28日に「創立40周年記念事業図書館リニューアルオープニングセレモニー」が開催され、蜂谷同窓会長が出席し祝辞を述べました。明るく開放的になった図書館で、生徒たちは読書や勉強に勤しんでいます。



## ICT機器の整備

短焦点プロジェクターとスクリーンがすべての普通教室に設置されました。芳泉高校では、生徒の思考力・判断力・表現力を養成するための1つの方法としてICT機器を活用しています。生徒や、授業を参観された外部の方からも好評をいただいています。



## 2. 芳友会館整備

### 補習科教室の照明の LED 化

補習科教室は、蛍光灯の照度不足により曇りの日は暗い感じがしていました。来年こそは志望大学へと日々努力している生徒が、より良い環境で学習できるようにと思い、芳泉高校同窓会は補習科教室の照明を LED に交換しました。今は生徒の学習効率が上がり、明るい未来に向かって活動できるようになりました。

### トイレの様式化

芳友会館も築後 37 年が経ち、補習科教室のある 2 階のトイレは和式のままでした。生徒からも洋式に改装してほしいと強い要望もあり、芳泉高校同窓会は洋式トイレに改装しました。

### 同窓会資料室の整備

昭和 58 年に芳友会館の 3 階部分が増築され同窓会資料室が設置されました。同窓会 40 年間の資料（学校行事の写真、印刷物、その他諸々）が保管してあります。しかし、溜まる一方で整理ができていない状態で、同期会用に写真を探そうにもすぐに見つからないこともありました。そこで、必要な資料がすぐに見つかるように整備を行いました。今後も同窓会員の皆様にも利用しやすい環境に整えていきます。

### 3. 同窓会創立 40 周年記念式典・懇親会

#### 記念式典

会場の正面には同窓会旗が掲げられ、20名の来賓者にご列席していただき、同窓生約250名が出席しました。来賓代表として現校長 國府島 貞司氏にご祝辞を頂戴しました。同窓会の発展に貢献した歴代同窓会会長に感謝状が贈られました。40周年という節目の会にふさわしく、粛々と執り行われました。

#### 懇親会

1期生から40期生まで1学年も欠けることなく、来賓と恩師の方々と併せて参加者は400名となりました。会場の明かりを落とし、4面の壁にプロジェクターで母校の様子を映し出すという、凝った演出で開会しました。乾杯の後は、久しぶりに再会した同級生や恩師の方々と心ゆくまで歓談しました。歴代応援団員の指揮の下、校歌を斉唱し、エールをきる場面では写真撮影のフラッシュの嵐となりました。恒例の教頭先生の万歳三唱では会場が一つになりました。



#### 岡山芳泉高等学校同窓会総会・40周年記念式典・懇親会

#### 式次第

- 日時：平成28年8月13日（土）
- 場所：ホテルグランヴィア岡山
- 式次第
  - 総会 16:00～16:30（3階 クリスタルの間）
    - 1 開会
    - 1 同窓会長挨拶
    - 1 第1号議案 「平成27年度会務報告、会計・監査報告」
    - 1 第2号議案 「役員改選」
    - 1 第3号議案 「平成28年度事業計画」
    - 1 支部報告
    - 1 閉会
  - 式典 16:40～17:00（3階 クリスタルの間）
    - 1 開会
    - 1 物故者への黙祷
    - 1 同窓会長挨拶
    - 1 来賓挨拶
    - 1 来賓紹介
    - 1 感謝状贈呈
    - 1 同窓会40周年記念事業紹介
    - 1 閉会
  - 懇親会 17:30～19:30（4階 フェニックスの間）
    - 1 開会
    - 1 来賓挨拶
    - 1 乾杯
    - 1 会食・歓談
    - 1 校歌斉唱
    - 1 閉会挨拶

## 記念式典



ご来賓



現校長 國府島 貞司氏によるご祝辞



感謝状贈呈

## 懇親会



オープニングで壁面に映し出された母校の映像



各期の写真（1～40期）









応援団の指揮の下、校歌斉唱



歴代応援団員によるエール



片山 智司 教頭先生による万歳三唱

#### 4. 40周年記念講演

平成28年11月12日（土）岡山シンフォニーホールにおいて、芳泉高校在校生・保護者、同窓会員・その家族を対象とした40周年記念講演を開催しました。講師として明治大学教授 齋藤 孝 氏をお招きし「人間関係をつくるコミュニケーション力」という演題で講演していただきました。

平成25年の母校創立40周年記念の際に、芳泉高校が在校生を対象に齋藤先生の講演会を催しました。その時の講演内容が生徒だけではなく我々社会人にも非常に有益な内容であり、同窓生にも是非聞いていただきたいという思いから、同窓会が講演を依頼し実現しました。

テンポの速い現代では、速く正確にコミュニケーションをとることが必要であると強調しておられました。講演が始まるとすぐに演台の前に移動し、会場の生徒一人ひとりとコミュニケーションをとるように話をされました。話だけでなく模擬練習も盛り込まれており、生徒たちも楽しみながら参加していました。私たち社会人にとってもなるほどと気付かされる話がたくさんありました。笑いあり、体験ありの齋藤先生の講演会は熱気に包まれ、参加した1,300名近くの聴衆は時間の経つのも忘れるほど大盛況のうちに終わりました。



# 同窓会の歩み

母校の進化に遅れまいと、同窓会も試行錯誤しながら歩んできました。昭和52年に367名で発足した岡山県立芳泉高等学校同窓会の40年の足跡をたどりました。

1977	昭和52年	3月11日	同窓会発足 初代会長 友野清文（1期）
1978	53年	5月	芳友会館設立に対し200万円出資
		11月	会員名簿第1号発行
1979	54年	5月	芳友会館（2階建て）完成
1980	55年	6月	支部 東京芳友会設立（～H8）
1981	56年		
1982	57年		芳友会館増築に対し同窓会より300万円出資、募金4581000円を集め寄付
1983	58年	10月	会員名簿第2号発行 芳友会館3階増築完成（会議室、資料室、事務室）
1984	59年		
1985	60年	11月	支部 関西芳友会設立（～H5）
1986	61年	5月	芳友会報第1号発行（以後、原則毎年発行）
		7月	創立10周年記念誌「芳友」創刊号発行
1987	62年		
1988	63年	12月	会員名簿第3号発行
1989	64年		
	平成元年		
1990	2年		
1993	5年		支部 芳歯会、自由業交流会設立
1994	6年		支部 芳教会設立
1995	7年		
1996	8年	8月	第20回総会（芳友会館で開催した最後の総会）
1997	9年		〈同窓会創立20周年記念事業〉
		5月	創立20周年記念誌第2号「芳友」発行
		8月9日	有森 博 ピアノリサイタル
		8月16日	記念式典・祝賀会 校舎壁面にカリヨンベル設置 2代会長 大土 弘（1期）
1998	10年	8月	第22回総会（以後、会場は市内ホテルを使用）
		11月	会員名簿第5号発行
1999	11年		会員1万人突破
		8月	総会と同期会の同時開催開始 支部 芳泉高校野球部OB会、バレーボールOB会設立 芳友会報第11号発行（以後、新校長就任時に発行）
2000	12年		
2001	13年		支部 朋援会、テニス部OB、関東芳友会設立
2002	14年		支部 岡山市役所泉会設立 同窓会ホームページ立ち上げ
2003	15年	11月	会員名簿第6号発行
		11月3日	母校創立30周年の山陽新聞広告掲（同窓会創立30周年事業） 3代会長 中里健一（1期）
2004	16年		支部 芳医会設立
		11月	高校空調設備新設・移転のための寄付（同窓会創立30周年事業）
2005	17年		〈同窓会創立30周年記念事業〉
		7月23日	自由業交流会支部による無料相談会
		8月13日	記念式典・祝宴
		10月31日	文化講演（講師：オリンピック柔道金メダリスト 野村忠弘氏）
2006	18年	6月	創立30周年記念 第3号 DVD「芳友」発行 4代会長 蜂谷泰祐（4期）
2007	19年	7月	芳友会報第13号発行（紙面による最後の会報）
2008	20年		高校部活動全国大会出場者への助成開始
2009	21年	8月	芳友会報14号発行（以後、同窓会ホームページに掲載）
		11月	高校校外研修への協力開始
2010	22年		
2013	25年	11月8日	母校創立40周年の山陽新聞広告掲（同窓会創立40周年事業）
2014	26年		支部 岡山ガス芳友会設立
2015	27年		高校「気宇広大」人育成講話への講師協力開始
2016	28年		〈同窓会創立40周年記念事業〉
2017	29年	2月	会員名簿第7号発行

## 同窓会の活性化への取り組み

平成 28 年 3 月には 40 期生が卒業し、芳泉高校の同窓会員も 16000 人を超えています。母校が発展し会員が増えることは喜ばしいことですが、組織が大きくなると世代間の距離も長くなり、同窓会に対する関心にも温度差が生じてきます。

芳泉高校同窓会では同窓会員が同窓会活動に関心を持ち、参加しやすくなる環境作りに取り組んでいます。

### 岡山県立岡山芳泉高等学校同窓会ホームページ (<http://www.hosen.gr.jp>)

芳泉高校同窓会では同窓会活動の案内のためにホームページを立ち上げています。年次総会の案内、同期会の案内、芳友会報、支部のイベントなどを掲載しています。芳泉高校ホームページや各期のブログともリンクしています。タイムリーな情報を発信できるよう今後も内容を充実させていく予定です。

### 同期会開催の支援

芳泉高校同窓会では積極的に各期の同期会を開催してもらうための支援を行っています。各期全員を対象とした同期会に対して、下記のように補助金を提供しています。

- ・ 高校卒業後 4 年目の同期会に対して 10 万円
- ・ 定期総会と同時開催した同期会に対して 30 万円
- ・ 同期会（2 回まで）に対して 10 万円

補助金は同窓会事務局に同期会開催の申請をしていただき、承認されたのち提供されます。補助金は同期会開催に関わる費用（連絡費、懇親会の費用の補助等）に使用して頂いて結構です。また、同窓会では開催準備のお手伝い（同窓会ホームページ上での告知、住所録の提供、これまでに開催された同期会の情報提供など）も行っています。この支援制度により、同期会開催のハードルを下げることであればと考えております。

### 同窓会支部設立及び運営に対する支援

同期会開催の支援は同窓会の横のつながりを強めることを、同窓会支部設立及び運営に対する支援は縦のつながりを強めることを目的としています。支部活動を行うことにより、学年を超えた同窓会員の間に交流が生まれます。

現在 11 支部が設立されています。地域や職場での集まり、同業者間の集まり、母校の OB 会などが支部として承認されています。実際の各支部活動に関しては同窓会ホームページ「支部の活動状況」をご覧ください。正式な規約はありますが、15 名以上の同窓会員が相互の親睦を深め、母校の発展に寄与することを目的とすれば同窓会支部を設立することができます。

芳泉高校同窓会では支部に対して運営補助金を提供しています。詳細は同窓会ホームページ「同窓会支部設立及び運営に関する規約」に掲載されています。世代の違う会員が支部活動を通じて出会い、親交を深めることができると期待しています。

芳泉高校同窓会は、これからも会員の関心を高め、同窓会活動を活発にし、同窓会を発展させるために努力してまいります。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

尚、同期会の開催や同窓会支部設立に関するお問い合わせは、同窓会事務局にお願い致します。

## 40年の軌跡（“芳泉”と心に刻み込まれた者達に栄光あれ！）

僕が小学生の時だったと思う。夕刻お菓子を買おうと思って、祖母から預かった100円札（その当時は立派なお髭の飯倉退助が載っていた）を握りしめて近所の駄菓子屋に向かった。（真冬の、しかも相当風の強い日だったことだけはしっかりと覚えている。）店についてお菓子を選んで、いざお金を支払おうと手を広げると、お札はない。ずっと握りしめていたはずなのに……。帰宅して祖母にお金を落としたことを告げると、すぐに探しに行こうとする。こんなに風の強い中、もうすっかり日も暮れているのに見つかる訳がないと思っていたら、何と暫くして「見つかった」と言って100円札を渡してくれた。ただただ嬉しかった。そして祖母をずっと尊敬していた。「当時はとてもお金を大切にしていた。」もしくは、「その当時の女性は根性があった」というようなことで、授業中雑談したことがあった。するとある女生徒が「先生、その100円札は本当に見つけたものなのですか。」と質問されて、愕然とした。（そうだよ、あんなに暗くて、風も吹いていたのに、見つかるはずなんかないよ。今なら、ちょっと考えれば直ぐに分かるはずなのに、全く信じて疑うことはなかった。）改めて祖母の思いやり（＝優しさ）に気づいたのである。

僕は芳泉高校に入学した。当時の先生方は何かにつけ「frontier spirit（開拓者精神）」を標榜され、その当時、他の学校ではまだ実施していなかったコンピュータの授業や7限目の特別授業などいろいろな取り組みをなさっていた。数年後、ある先生が退職され、県の教育委員として、卒業式に来賓として御挨拶をされることがあった。規定の原稿は横に置いて（どうも最初から全く読む気はなかったようだが）、芳泉高校の創立期がいかに大変であったか、いかに苦労したかについて延々と話された後で、諸君達も「fighting spirit（闘争精神）」を持って頑張れと何度も鼓舞されたのである。先生「fighting」はなく、「frontier」ですよ。古文の先生だから区別がつかないのも仕方がないかと思っていたところ、実はこれもどうも間違いではなかったのである。その当時既存の他の普通科3校はとても充実していて、全国においても抜群の進学実績を残していた。それらの学校に追いつけ、追い越せと言わんばかりに日々の宿題の量も質も相当なレベルであった。（現在私も高校の教員をしているのでよく分かるのだが、実際本当に丁寧に御指導してくださっていた。）芳泉高校の先生方の気持ちはいつも闘争モードで他の学校と闘っていたのである。だから、当時のことを思い出すとfrontierではなくfightingになってしまうのも仕方がないのかも知れない。（と、推測している。）

### ◎幾星霜

五校戦では何度も連覇をし、進学実績でも三冠達成（旧帝大難関大学・地元の岡山大学・全国国公立大学の合格者が最多であること）することが多く、全国から多くの高校の先生方が芳泉高校を訪れた。南は九州沖縄から北は北海道まで、中には芳泉高校より遥かに素晴らしい進学実績を残している高校もあった。なぜ芳泉高校を訪問するのか不思議であったが、「3年間で最も生徒の能力を伸ばしている高校」という評価をされていたようだ。「入学当初は五校すべて同じ成績なのに3年間でどうしてそれほどまでに成績が違うのですか」という質問に対してはいつも同じ答えを用意していた。「その差は“思い入れ”。教員の思い入れが違うんです。」私がいくつかの高校を勤務してみて感じたことは、補習科の丁寧な指導と同窓会の様々な活動に関しては、芳泉高校がNO.1だと確信している。（卒業しても温かいんだから。）

### ◎幾星霜

「私は、この3年間全く塾にも行かず、芳泉高校で出された宿題以外、何もしなかった。しかし、岡山大学医学部に合格したんだから、何も間違っていないと思う。」と最後の最後に励ましてくれる生徒がいて、とても勇気づけられたことがある。芳泉高校は宿題が多いことで有名だ。しかし、その宿題さえしていれば合格できるのなら、これほど“無難な”高校はないのではないかと。以前卒業式の日まで宿題を出すのかと批判されたこともあったが、「まだ中期・後期の試験が残っている以上、その対策に応じるのが芳泉高校らしいところで、生徒もそれに応えてくれるんです。」と答えていた。

### ◎幾星霜

高校3年生の補習として、年末は12月30日まで、年始は1月3日から学校を開放して生徒に自習させていたこともあった。昼食は近くのホカ弁に依頼して、生徒が各自で注文した弁当の代金を箱に入れていたのだが、料金を誤魔化す生徒は一人もいなかった。創立当初、学校に購買施設はなく、3棟の一階（現在は3年生男子の更衣室）でパンを販売していた。購買のおばちゃんがない時には、箱に代金を入れて品物を持っていくこともあったが、代金が合わないようなことは一度もなかったそうだ。（伝説になっているこの話も実際本当だったのだろうか。（笑）その当時パンを売っているようなお店は近づくなく、ここでパンを確保しておかなければ自分たちが困ることは、生徒は皆自覚していた。しかし、いつもいつも正しかった訳でもなかったのだろう。ただ少々のは、やはりおばちゃんたちの“思いやり”が働いたに違いないと思っている。将来社会に有為な人物を育てているという自負がきっと働いたに違いないのだ。）

## ◎幾星霜

自然環境の変化により恐竜が絶滅したように、入試制度の変更は学校にとっては死活問題で、上手く凌がないと絶滅してしまう。五校による総合選抜制度の廃止は、芳泉高校にとっては、とても不利な展開になった。しかし、単位制導入や自己推薦入試の実施などによって、乗り切れたのではないか。昔ながらの、懐かしく思うような学校がここにある！

## ◎幾星霜

久しぶりに芳泉高校を訪れる。夕暮れ迫る時間なのに、自転車置き場には自転車が沢山残っている。それだけ部活動をしている生徒が多いのだろう。職員室で先生に質問している生徒も沢山いる。芳友会館の一階で自習している生徒も沢山いる。学校全体に“若いエネルギー”が溢れている。県南の高校で各教室に冷暖房設備を設置したのは、芳泉高校が最も早い。その設置については学校側の理解もあったし、また同窓会も資金援助したのである。それを見て他の学校も追随したのであるから、「岡山県の教育環境の向上」に芳泉高校同窓会は大きく寄与したことになる。

## ◎幾星霜

グローバル時代を先取りして、28期生から制服をリニューアルした。海外への修学旅行を踏まえて、軍服をイメージさせる詰め襟からスーツに、また女子の制服も大きく変更した。何と言っても替えのセーターやスカート、夏にはポロシャツと様々なバリエーションを取り揃えてあるのが素晴らしい。諸事情でなかなか海外に出向くことができなかったが、最近の芳泉高校の修学旅行の候補先には何と！「ハワイ」もあることには驚かされた。確かに進化している。

## ◎幾星霜

芳泉高校から転勤して10年経った時、一通のメールがオランダから届いた。自分は★期生なのだが、28年ぶりに岡山に帰るので、是非とも先生（＝私）にお会いしたいという。確かに教えた。しかし、3年次に週一回「センター試験の演習」という科目を教えた生徒で、部の顧問でもなく、担任でもなかった。なぜ私に会いたいのか不思議な気もしたが、出会った最初の彼の台詞は「先生の言葉に勇気づけられてこれまでやってこられたので、感謝したい」とのことであった。「28年ぶりに、しかもオランダから帰国して感謝の意を伝えたい」って、果たしてどんなに素敵なお言葉を差し上げたのだろうかと思いついて尋ねたところ、私の言葉は「やらぬ後悔をするな」であった。（あまりに単純すぎて驚かされたが、その言葉の意味は「とにかくやってみよう。何事にも恐れず挑戦した方が面白いだろう」ということで、それほど深い考えがあったとは思えない。）しかし、自分では意識していない小さな言葉が、他人の人生を大きく変える原動力になることがあるのかも知れない。そして、その言葉を与えられた生徒はその言葉に助けられ、人生が開けていくこともあるのだろう。生徒とは学校を卒業することによってお互いの関係が途切れても、思いは残り、言葉は生き続けることもあるようだ。（やはり素晴らしい学校だ。カリオンの響きよ、永遠なれ！）

## ◎幾星霜

芳泉高校は創立40周年を経て、「未だに〇期生と呼び合っている。」のが羨ましいと言われたことがある。普通の学校では10年を過ぎたことから、〇年度の卒業生などと呼ぶようだ。芳泉高校は1期生から延々と受け継がれた精神がここにあるのだろう。新聞で「芳泉」の活字を見つけると、敏感に反応してしまう。「〇〇部は今年〇回戦に進出したのか」と納得し、書道のパフォーマンスを街で見かけると「頑張れ！俺も芳泉なんだから」と妙に見入ってしまう。全国大会に出場したりすると奨励金が同窓会から贈られる。それは卒業生も在校生の活躍に励まされることも多いからだ。「自分の親と卒業した学校は選択できない。」とは米の大統領の名言であるが、常に芳泉高校の活躍を見守っている。

確かに芳泉という校名は、芳田と泉田という地名から創作されたものではあるが、芳泉高校の地名は、「当新田」であることに当初から疑問を抱いていた。当新田とは「当に新田なるべし。」という意味ではなく、この新田を開墾した和氣与七郎当庵という人名に由来している。（当時は地名に人名を用いることが許されなかったので、当庵新田から一文字を抜いて当新田と呼ばれていた。）しかし、幾星霜、現在の芳泉高校の地名は「芳泉」なのである。

学校が創建された地名を学校名にすることは多いが、学校名が逆に地名になるような例はあまりないのではないかと。これまでの実績が評価され、またこれからの活躍を期待されたに違いない。「芳泉」という名を名にし負ふ」それだけの責任の重さを感じながら、「これまで」なのか「これから」なのかと問いつつも今後の展開が楽しみである。

40年の軌跡は、40年の奇跡。この先の10年、芳泉高校並びに芳泉高校同窓会の歩みに、また期待したい。